

医師・薬剤師が語る

知ること広がる、 わたしの治療選択

～IBD 患者様向けオンラインセミナー～

【日時】2026年6月28日（日）14:00～15:30

【申込み】URL または二次元コードからお申込みください
<https://forms.gle/2haGkRknHHkK8x1c8>

▼申込はこちら



Program

第1部

進化するIBD治療！
『分子標的薬・生物学的製剤』ってどんな薬？

群馬大学大学院医学系研究科 臨床薬理学 准教授

荒木 拓也 先生

第2部

IBD治療の進歩と未来：最新薬や治療の選択
肢で変わる日常生活

独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）中京病院 消化器内科医長

尾関 啓司 先生

【共催】健康保険組合によるバイオシミラー普及モデル事業コンソーシアム
セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社

お問い合わせ

E-mail : whc_seminar_desk@whitehealthcare.co.jp

セミナー詳細

このセミナーは、「健康保険組合によるバイオシミラー普及のモデル事業コンソーシアム」と「セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社」が共催し、開催しています。



バイオ医薬品とは？

「バイオ医薬品」は、細胞や微生物などを利用してつくられる、主にタンパク質を有効成分とするお薬です。炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）をはじめ、関節リウマチ、がん、糖尿病、腎性貧血など、これまで治療が難しかった病気にも効果が期待され、医療現場で広く使われるようになっていきます。



バイオシミラーとは？

バイオシミラー（バイオ後続品）は、先行するバイオ医薬品の特許期間が満了した後に新たに開発・製造されるバイオ医薬品です。先行バイオ医薬品と同等／同質の品質・安全性・有効性を有する医薬品として、国（厚生労働省・PMDA）の厳格な審査を経て承認されています。また、先行バイオ医薬品と比較して価格がおおよそ7割程度に抑えられているため、患者様の自己負担の軽減につながると期待されています。



健康保険組合による バイオシミラー普及の モデル事業コンソーシアム について

健康保険組合によるバイオシミラー普及のモデル事業コンソーシアムは、皆さまやご家族が加入されている健康保険を運営する11の健康保険組合（加入者総数約126万人、2025年度末時点）が連携し2024年に発足しました。

バイオシミラーの普及については、国も積極的に推進しており、厚生労働省が策定した第4期医療費適正化計画では、2029年度末までにバイオシミラーに数量ベースで80%以上置き換わった成分数を全体の60%以上とする数値目標が設定されています。また、2024年9月末に発出された「後発医薬品の使用に係るロードマップ」では、バイオシミラー普及に向けた取組施策として、保険者による普及啓発に係る指標の検討が言及されるなど、健康保険組合においてもバイオシミラーの普及・啓発を推進する機運が高まっています。

こうした国の方針を踏まえ、本コンソーシアムは加入者の皆さまにバイオシミラーを正しく知っていただくための啓発活動に取り組んでいます。

この度、「バイオシミラーという新しいお薬の選択肢を、患者様やご家族にもっと知ってほしい」という思いから、今回はIBD（炎症性腸疾患）領域のバイオシミラー製剤の製造・開発・販売を行っているセルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社と連携し、患者様へ情報をお届けするオンラインセミナーを企画しました。

セミナーでは、医師・薬剤師がお薬の基礎知識・治療の選択肢・自己負担額の違いをわかりやすく解説します。患者様のご自身で情報を持ち、治療と向き合えることを目指す取り組みです。



※本セミナーは情報提供を目的としています。
個別の診断・治療の判断は、必ず主治医にご相談ください。